

ありをかんさつしたよ

上天草市立のぼりたて小学校 1年 ますだ えいち

1 しらべようとおもったわけ

ぼくのうちのにわであそんでいると、ありがよくいます。ありは、なにをたべるのかしりたくなりました。ありのことをもっとしって、すきなたべものはなにかしらべてみたいとおもいました。そして、それはどうやってはこぶのかかんさつしました。

2 しらべるほうほう

- (1) ありのすのちかくに、4しゅるいのものをおいてようすをみる。
- (2) ありのからだのつくりをしらべる。
- (3) ありのすをさがす。
- (4) すきなたべものをどうやってはこぶのか、かんさつする。

3 しらべてわかったこと

- (1) ばった、いもむし、トマト、おかし（ぼーろ）をおいて、どれにありがたくさんくるかしらべた。2かいとも、ありは、むしとおかしにたくさんきた。トマトはきらいだった。
- (2) ありのからだのいろはくろ。からだは3つにわかれていて、くちがはさみのようになっている。からだのちいさいはこびやのありとあごのおおきいぶんかいやのありがいる。
- (3) ありがえさははこぶところをたどっていくと、きのねもとのいしとつちのあいだにすがあった。すは、つちのなかにあった。
- (4) えさのはこびかた

ア ちいさいものはこびかた（くずしたぼーろ）

ありは、ぼーろを1びきずつくちにくわえてはこんだ。ありのすまでながいぎょうれつができた。れつが、いきみちとかえりみちとぶつかってもまちがわなかった。

イ ちょっとおおきいものはこびかた（かんさつ1かいめのばった）

さいしょは、すこししかありはいなかったけど、だんだんふえていった。10びきくらいありがきて、みんなでかついでいった。ありはちからもちだなあとおもった。

ウ おおきいものはこびかた（かんさつ2かいめのばった）

ばったのまわりにすなをもってきて、ばったをうめていた。しばらくしたら、すこしおおきなありがきて、そのうえにのっていた。またしばらくしたら、ばったは、あしだけのこっていた。ほんでしらべたら、おおきなありはぶんかいやでちいさいありははこびやということがわかった。おおきなありがきて、ばったをはこびやすいおおきさにぶんかいしたんだとおもった。



4 かんそう

ありには、すきなものときらいなものがあることがわかりました。すきなものは、ぎょうれつをつくってみんなできょうりよくしてはこんだり、ぶんかいしてわけてはこんだりすることがわかりました。ありはとてもはたらきもので、ちからもちとおもいました。また、いろんなものをおいてありのようすをかんさつしたいです。